

# 認知症に関する市民意識調査結果(抜粋)

## 1、調査目的

本調査は、市民の認知症に対する関心、認知症の人やその家族との関わりへの意識等について把握し、認知症の普及啓発や地域における見守り支援体制構築の推進の基礎資料として活用するために実施しました。

## 2、概要

三田市内にお住まいの満16歳以上の市民から2000人を無作為抽出  
(調査期間：令和3年4月15日～5月7日)

## 3、回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000件	1,144件	57.2%

【参考】令和元年度三田市市民意識調査報告書

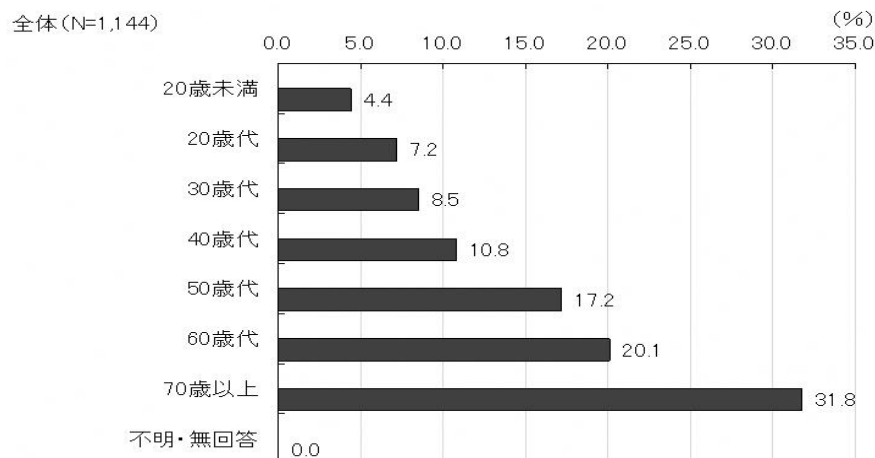
調査の内容：インターネットの利用状況・広報誌・市政について

配布数：3,000人、回収数：1,393人、回収率：46.4%

## 4、質問項目別【抜粋】

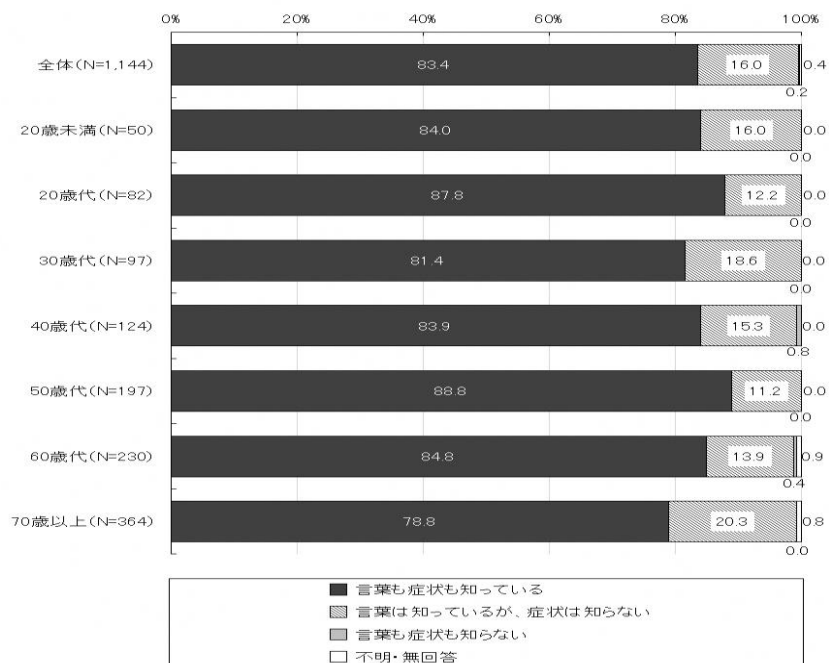
### 【問1】あなたの年齢は何歳ですか。

年齢についてみると、「70歳以上」が31.8%と最も高く、次いで「60歳代」が20.1%となっており、年齢が高いほど回答率が高くなっています。



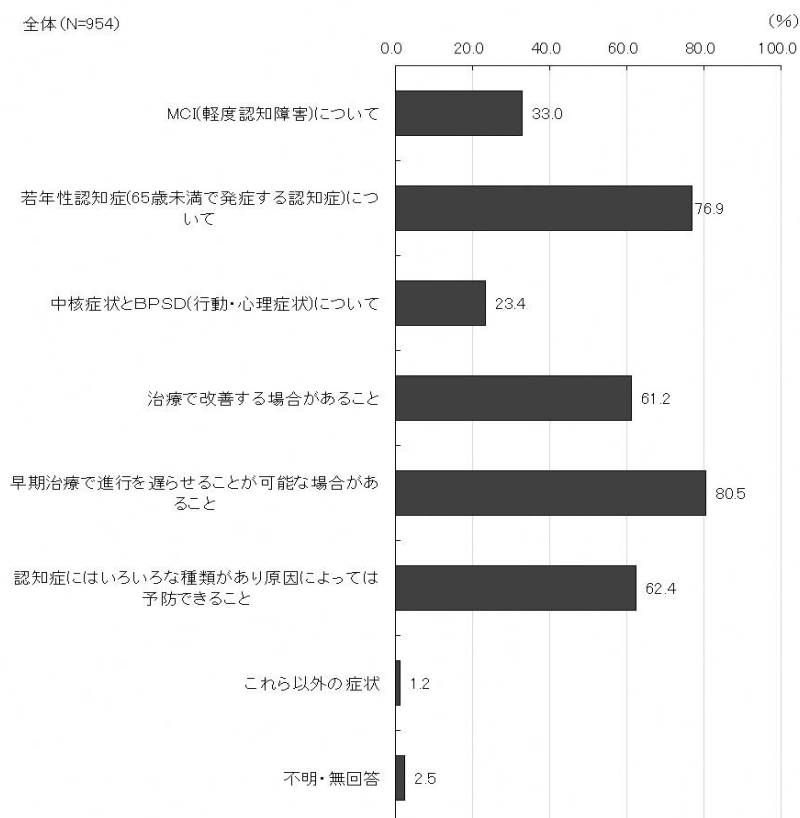
**【問4】 認知症という言葉や症状について、どの程度ご存じですか。**

「言葉も症状も知っている」が83.4%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、症状は知らない」が16.0%となっています。なお、年齢別でも大きな差異は見られません。



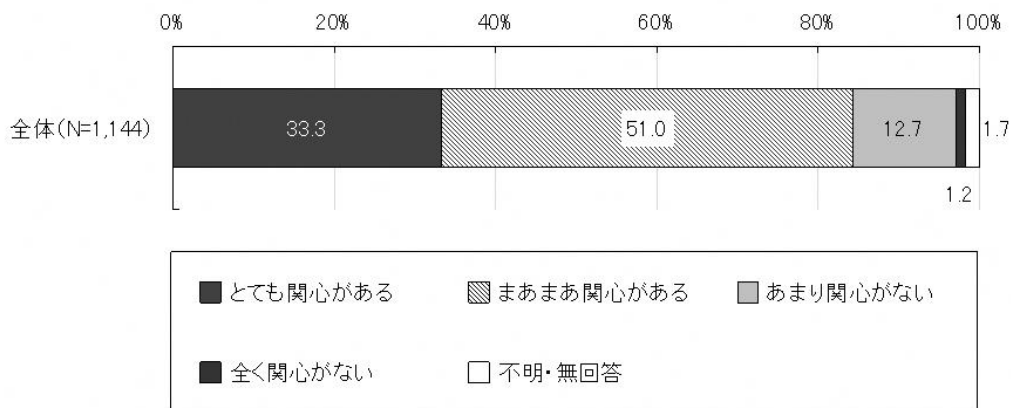
**【問5】 認知症に関することで、知っていることはありますか。**

「治療で進行を遅らせることが可能な場合があること」が80.5%と最も高く、次いで「若年性認知症(65歳未満で発症する認知症)について」が76.9%となっています。年齢別では、20歳～50歳で、「若年性認知症について」の割合が高くなっています。



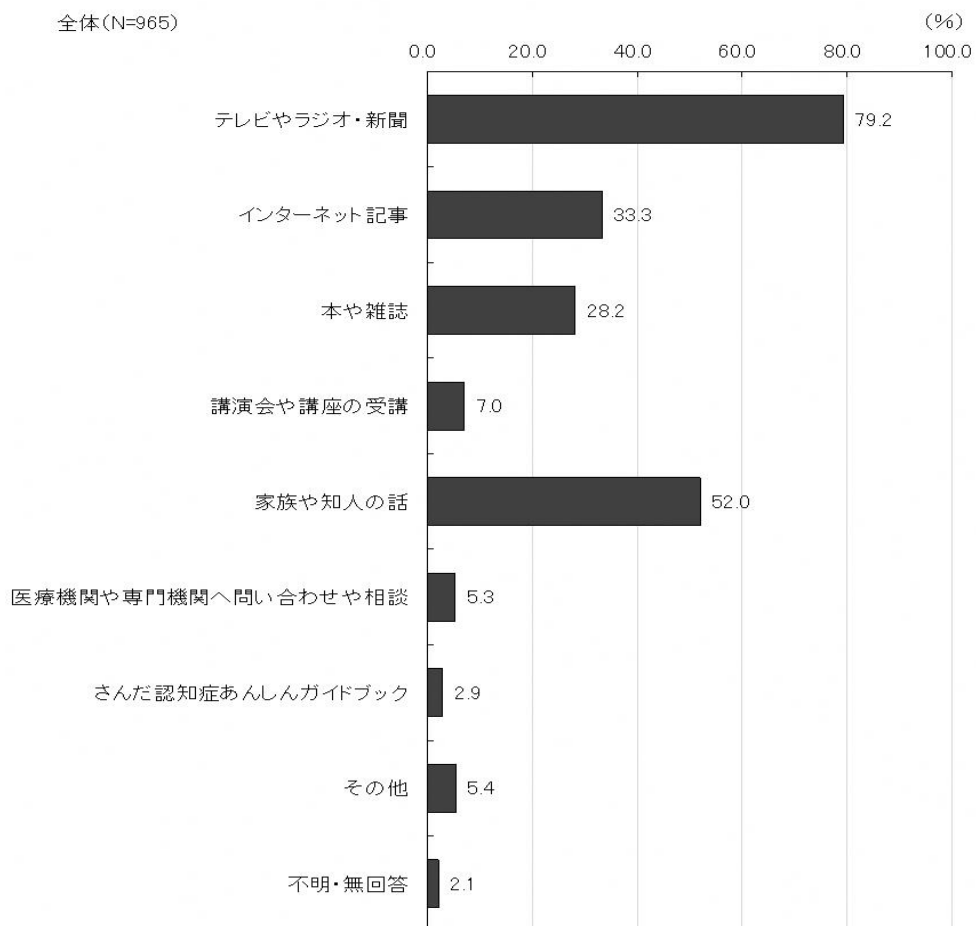
**【問6】 認知症に関心がありますか。**

「まあまあ関心がある」が51.0%と最も高く、次いで「とても関心がある」が33.3%となっています。  
また、年代別では、年齢が高いほど、関心が高くなっています。



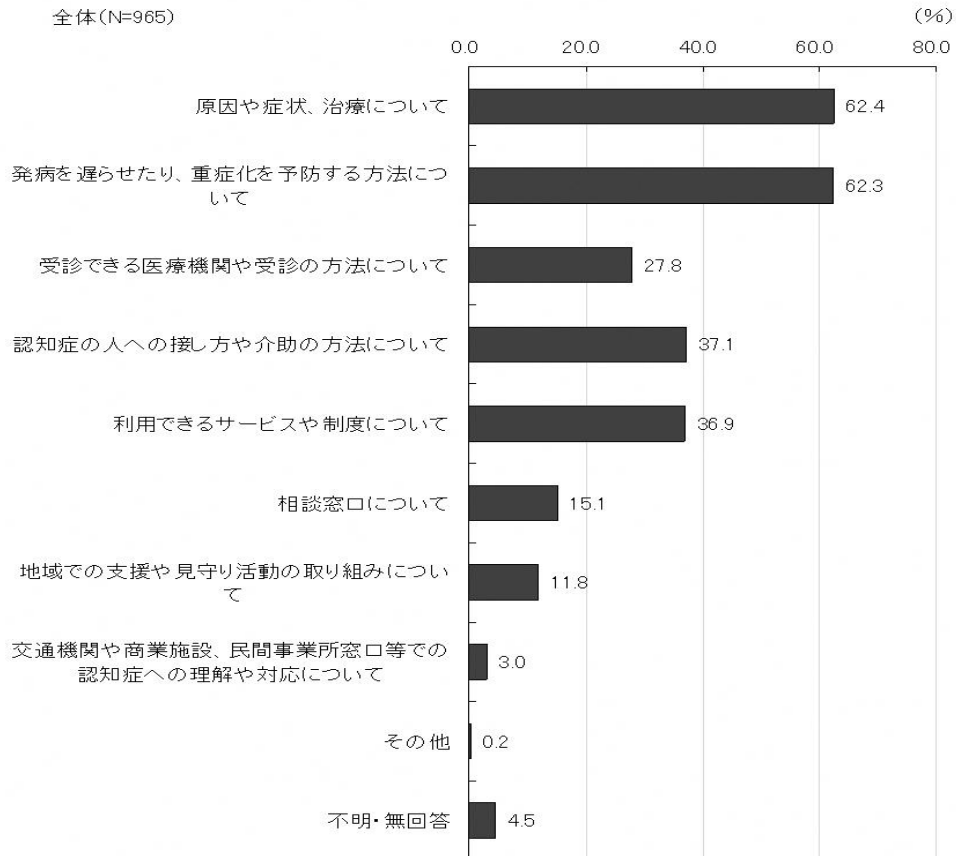
**【問7】 普段どのような手段で認知症の情報を得ていますか。**

「テレビやラジオ・新聞」が79.2%と最も高く、次いで「家族や知人の話」が52.0%となっています。  
年齢別で見ても、いずれも「テレビやラジオ・新聞」が最も高くなっています。



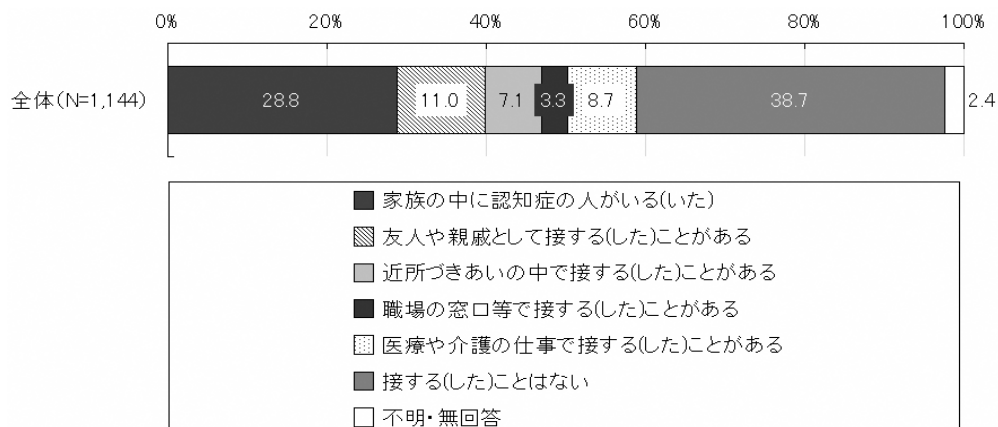
**【問8】 認知症のどんなことに関心がありますか。**

「原因や症状、治療について」が62.4%と最も高く、次いで「発病を遅らせたり、重症化を予防する方法について」が62.3%となっています。年齢別にみると、「20歳未満」「20歳代」「40歳代」「60歳代」では「原因や症状、治療について」、それ以外の年齢では「発病を遅らせたり、重症化を予防する方法について」がそれぞれ最も高くなっています。



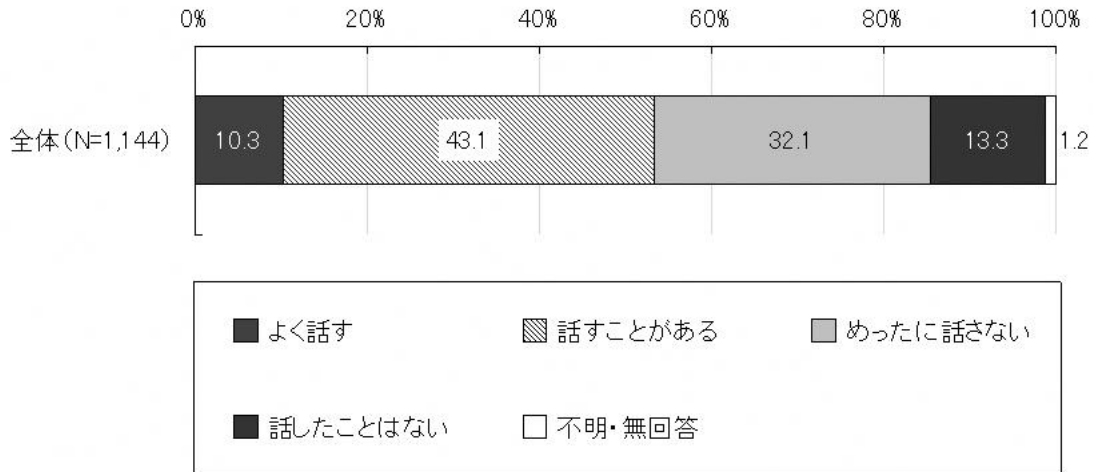
**【問9】 認知症の人と接する機会がありますか。**

「接する（した）ことはない」が38.7%と最も高く、次いで「家族の中に認知症の人がいる（いた）」が28.8%となっています。年齢別にみると、「接する（した）ことはない」という回答について、「20歳未満」が64.0%と最も高く、次いで「20歳代」が47.6%となっています。また、「家族の中に認知症の人がいる（いた）」という回答について、「50歳代」が38.6%と最も高く、次いで「60歳代」が34.8%となっています。



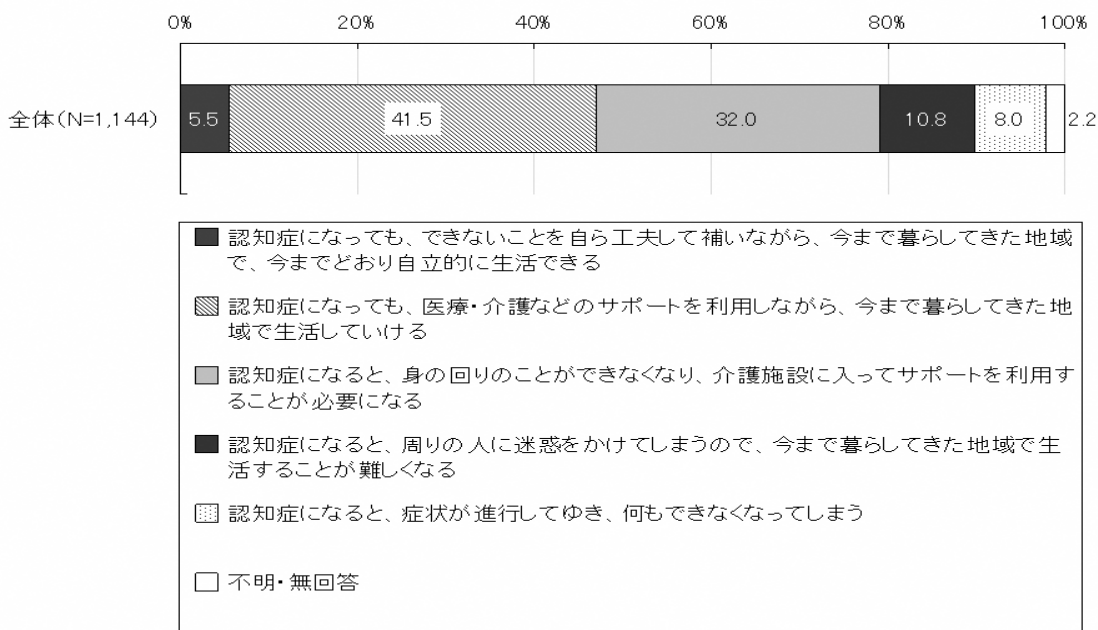
**【問 10】 認知症について、家族や友人、職場などで話をする機会がありますか。**

「話すことがある」が43.1%と最も高く、次いで「めったに話さない」が32.1%となっています。年齢別にみると、「話す（「よく話す」と「話すことがある」の合計）」という回答について、「60歳代」が65.7%と最も高く、次いで「50歳代」が55.4%となっています。



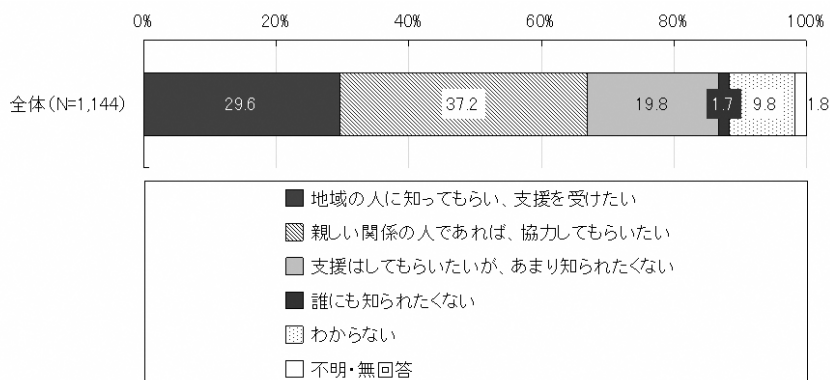
**【問 11】 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。**

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が41.5%と最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が32.0%となっています。年齢別にみると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」という回答について、「50歳代」が46.2%と最も高く、次いで「40歳代」が43.5%となっています。また、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」という回答について、「20歳未満」が42.0%と最も高く、次いで「30歳代」が38.1%となっています。



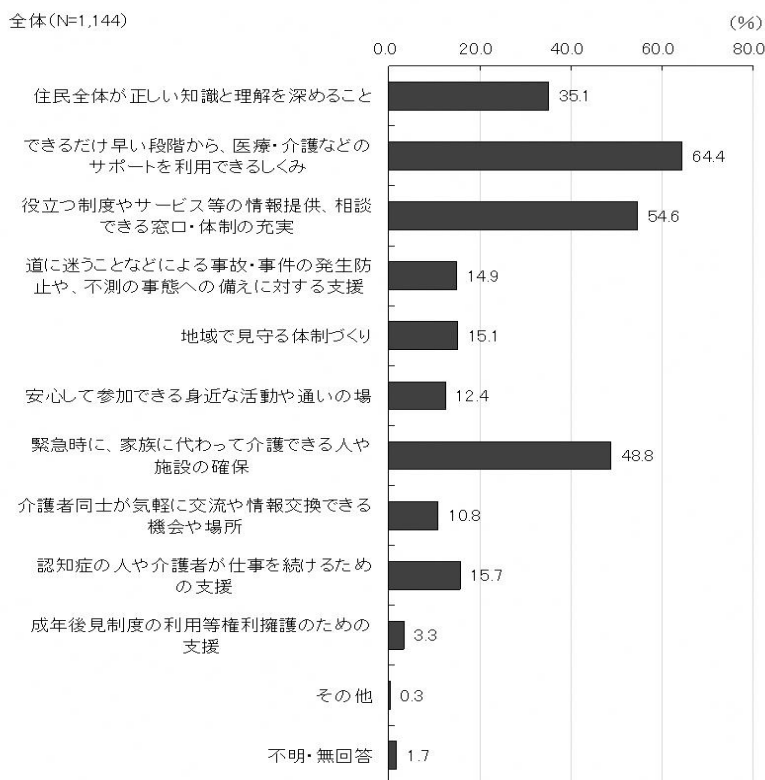
**【問 12】 あなたやご家族が認知症になった場合、地域の人の支援は必要と思いますか。**

「親しい関係の人であれば、協力してもらいたい」が 37.2%と最も高く、次いで「地域の人に知ってもらい、支援を受けたい」が 29.6%となっています。年齢別にみると「親しい関係の人であれば、協力してもらいたい」という回答について、「20 歳未満」が 58.0%と最も高く、次いで「20 歳代」が 47.6%となっています。また、「地域の人に知ってもらい、支援を受けたい」という回答について、「60 歳代」が 38.3%と最も高く、次いで「50 歳代」が 35.5%となっています。



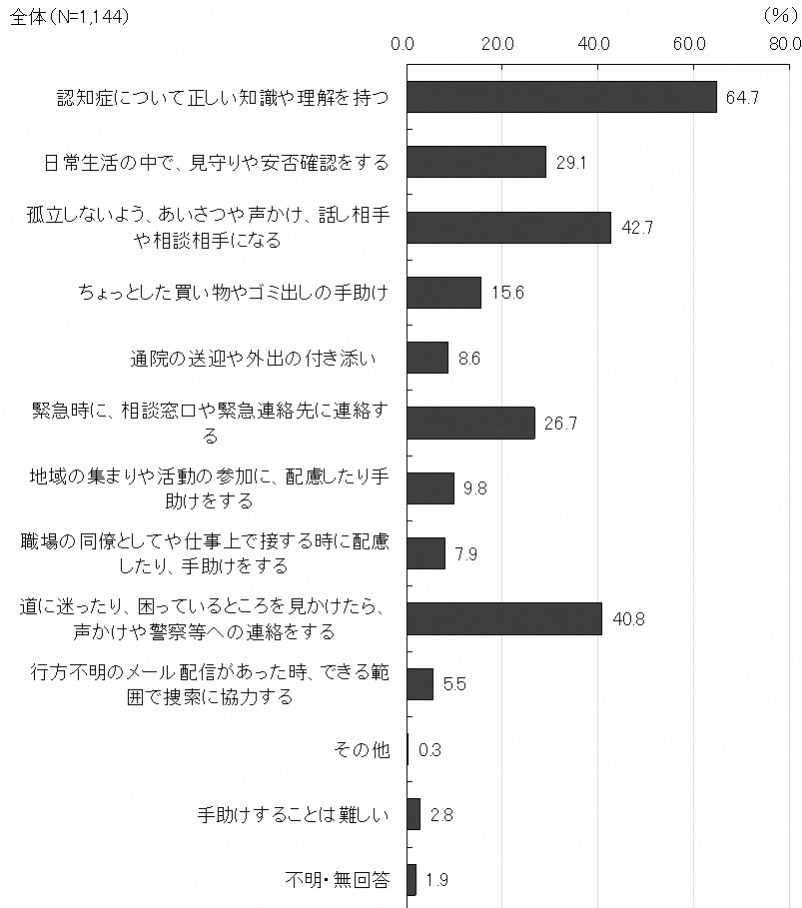
**【問 13】 あなたやご家族が認知症になっても暮らしやすい社会になるために、あなたが必要と思うことは何ですか。**

「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できるしくみ」が 64.4%と最も高く、次いで「緊急時に家族に代わって介護できる人や施設の確保」が 48.8%となっています。年齢別にみると、「20 歳未満」では「緊急時に家族に代わって介護できる人や施設の確保」、それ以外の年齢では「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できるしくみ」がそれぞれ最も高くなっています。



**【問 14】 認知症の人やその家族が暮らしやすい社会を築くため、あなたができると思うことは何ですか。**

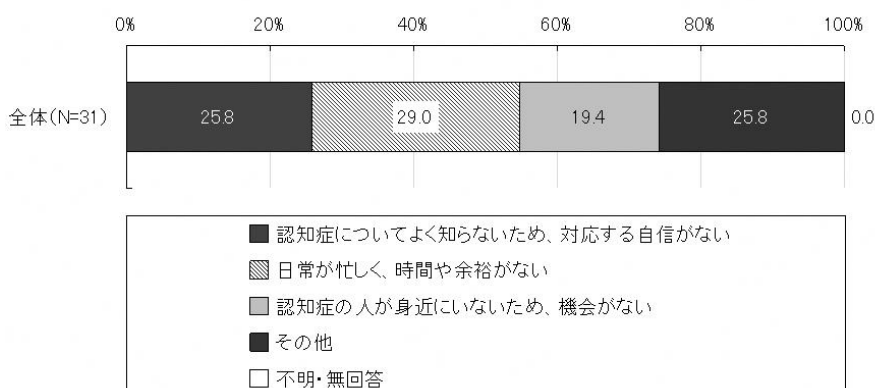
「認知症について正しい知識や理解を持つ」が 64.7%と最も高く、次いで「道に迷ったり、困っているところを見かけたら、声かけや警察等への連絡をする」が 40.8%となっています。年齢別にみると、いずれも「認知症について正しい知識や理解を持つ」が最も高くなっています。



**問 14 で「手助けすることは難しい」を選んだ方**

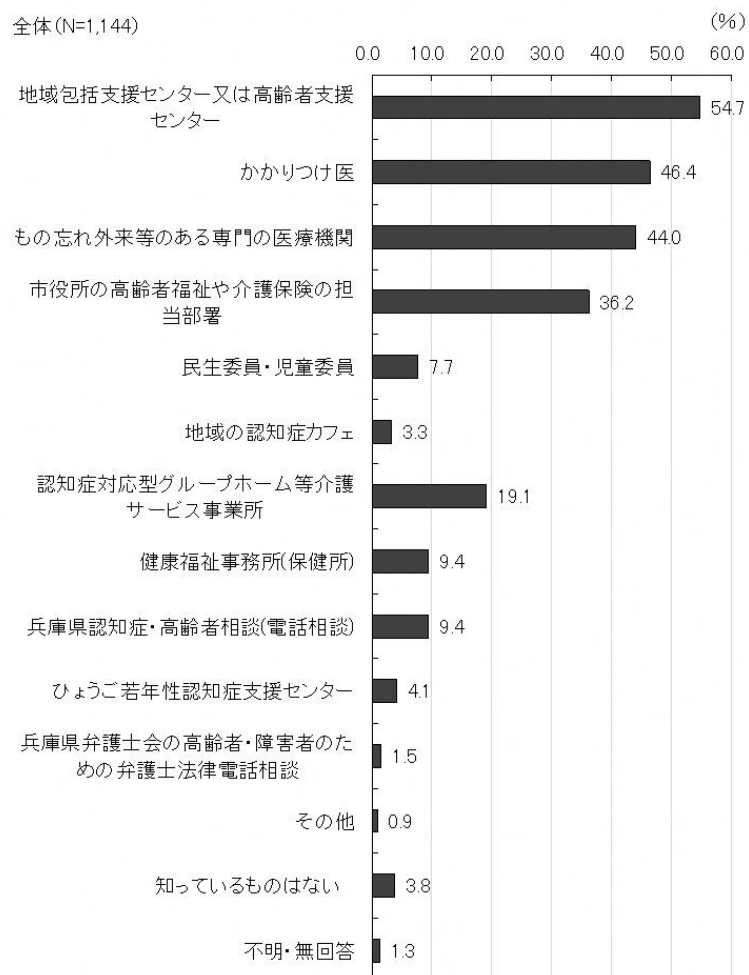
**【問 15】 難しいと思う理由は何ですか。**

「日常が忙しく、時間や余裕がないため」が 29.0%と最も高く、次いで「認知症についてよく知らないため、対応する自信がない」が 25.8%となっています。年齢別にみると、「70 歳代」では「その他」が 37.5%と最も高く、次いで「認知症についてよく知らないため、対応する自信がない」「認知症の人が身近にいないため、機会がない」が 31.3%となっています。



**【問 16】 認知症に関する身近な相談先として、あなたが利用したいと思うところは何ですか。**

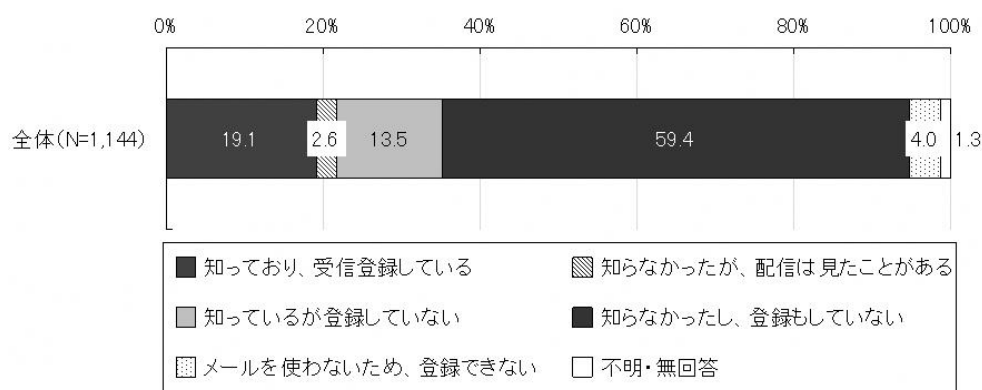
「地域包括支援センターまたは高齢者支援センター」が 54.7%と最も高く、次いで「かかりつけ医」が 46.4%となっています。年齢別にみると、「30 歳代」では「かかりつけ医」、それ以外の年齢では「地域包括支援センターまたは高齢者支援センター」がそれぞれ最も高くなっています。





**【問 17】** 三田市では、認知症等による行方不明が発生したとき、「さんだ防災・防犯メール」に登録している人に情報をメール配信し、目撃情報等の提供にご協力いただく「三田市高齢者等 SOS ネットワーク」を実施していますが、あなたはご存じでしたか。

「知らなかったし、登録もしていない」が 59.4%と最も高く、次いで「知っており、受信登録している」が 19.1%となっています。年齢別にみると、「知らなかったし、登録もしていない」という回答について、「20 歳未満」が 78.0%と最も高く、次いで「20 歳代」が 76.8%となっています。また、「知っており、受診登録している」という回答について、「40 歳代」が 34.7%と最も高く、次いで「50 歳代」が 28.4%となっています。



**【問 18】** 三田市では、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者(何か特別なことをするのはではなく、自分のできる範囲でちょっとした手助けをする人)を増やすため、「認知症サポーター養成講座(認知症の知識や認知症の人への接し方を学ぶ講座)」を実施していますが、あなたはご存じでしたか。

「知らなかったが、機会があれば受講したい」が 44.8%と最も高く、次いで「知らなかったし、受講希望もない」が 33.3%となっています。年齢別にみると、「知らなかったが、機会があれば受講したい」という回答について、「40 歳代」が 51.6%と最も高く、次いで「60 歳代」が 50.9%となっています。また、「知らなかったし、受講希望もない」という回答について、「20 歳未満」が 54.0%と最も高く、次いで「20 歳代」が 51.2%となっています。

